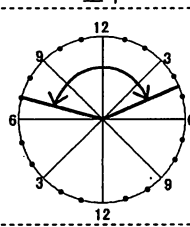


※(例)として示している問題では、誤字、脱字、文法上の誤り等は、それぞれ1か所につき1点の減点とする。

※解答欄に語句が印刷されている問題では、同じ語句が重複して書かれていても正答とする。

問題番号		正答または正答例	配点			評価上の留意事項	
問	小問		小問	小計	計		
1	(1)	エ	2	2	21	(2)は、記号と理由がともに正しい場合のみ正答とする。 (2)の理由は、全校児童が毎朝通る場所であることが書かれている場合も正しいこととする。ただし、「朝」「学校に着いた時」などの、登校後教室に入るまでを表す言葉がない場合は3点とする。 (3)は、全て正しい場合のみ正答とする。 (4)①は、支援の対象が書かれ、後の言葉につながるものを正答とする。 (4)③は、同等の内容も正答とする。ただし、「投函」等、低学年への配慮に欠ける言葉は1点とする。	
		記号					
	(2)	理由	(例) 毎朝、低学年の児童が目にする場所だから	5			5
		A	切手	6			6
		B	現金				
	C	郵便局					
	(4)	①	(例) アジアの子どもたちのために	3			8
②		2	3				
③		(例) 出すことが	2				
2	(1)	A	4	2	29	(2)①は、ひらがなで書かれているものも正答とする。 (3)①は、同等の内容も正答とする。 (3)②は、以下の2点がともに書かれているものを正答とする。文の数は問わない。 ・日本の輸出額のうち、生糸が大きな割合をしめていたこと。 ・長野県の生糸の生産量が、他県と比較して非常に多かったこと。	
		B	名所	2			6
		C	人	2			
	(2)	①	D	静岡			
			E	愛知			3
		②	エ	3			
		③	十州に境つらぬる国	3			
	(3)	①	(例) 米など主食になる作物が実らない里がある	3			7
		②	(例) 当時、生糸は日本の輸出額の中で最大の割合をしめる重要な輸出品であり、その生産量において、長野県は2位以下を大きく引き離して全国1位だったから	4			
		(4)	①	ア			
	②	イ	2	4			
3	(1)	A	12	2	23	(2)は、「午前」「午後」等も正答とする。 (3)は、以下の2点がともに満たされているものを正答とする。 ・円の中心から円周上の午前7時を示す点に1本、中心から円周上の午後4時と5時を示す点の間にもう1本の直線と判断できる線がかかっている。 ・円の上半分で、2本の線の間を矢印で結んでいる。 (5)は、「春分の日と秋分の日」等、同等の内容が書かれている場合は正答とする。	
		B	午	3			5
		C	未	4			
	(2)	正午	4	4			
	(3)	図4		4			4
		D	え	6			6
E	け						
F	お						
G	い						
(5)	(例) 昼と夜の長さが同じ日	4	4				
4	(1)	ウ	3	3	27	(2)Cは、「懂」の誤字は減点の対象としない。 (3)は、2段落構成で160字以上書かれているものを評価の対象とする。その上で、次のi) ii) iii)の観点に沿った内容が書かれている場合、各5点とする。 i) 1段落目に筆者の考えに対する自分の考えが書かれていること。なお、自分の考えについては、筆者に賛成の立場でも反対の立場でもよい。 ii) 2段落目にどのように中学校生活を送りたいか具体的に書かれていること。 iii) 1段落目と関連付けて、2段落目が書かれていること。	
	(2)	A	一流のものに感動する	3			
		B	高いところの上る感覚	3			
		C	憧れを持つ自分	3			
(3)	(例) わたしは、筆者の「高い塔を建てる」という考えは、とても大切だと思います。少し背伸びをしたくらい目標の方が、やる気を持ち、前向きに取り組めると思うからです。 中学校生活では、今までわたしは学力を高めたいと考えていましたが、この文章を読んで、将来、国際社会で活やくするという夢をかなえられるように、英語を熱心に学習したり、多くの人と積極的にコミュニケーションをとったりするようにしたいと思いました。(200字)	15	15				